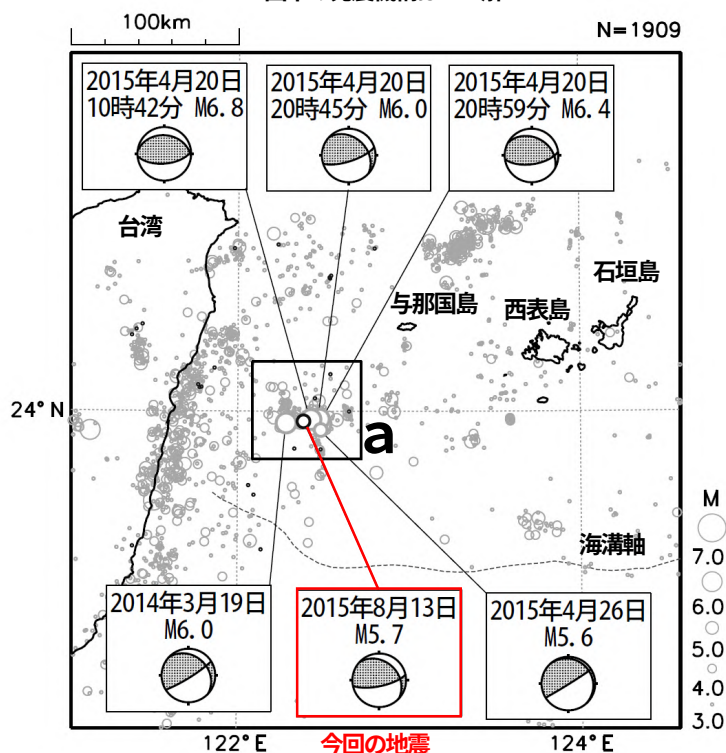


8月13日 台湾付近の地震

情報発表に用いた震央地名は〔与那国島近海〕である。

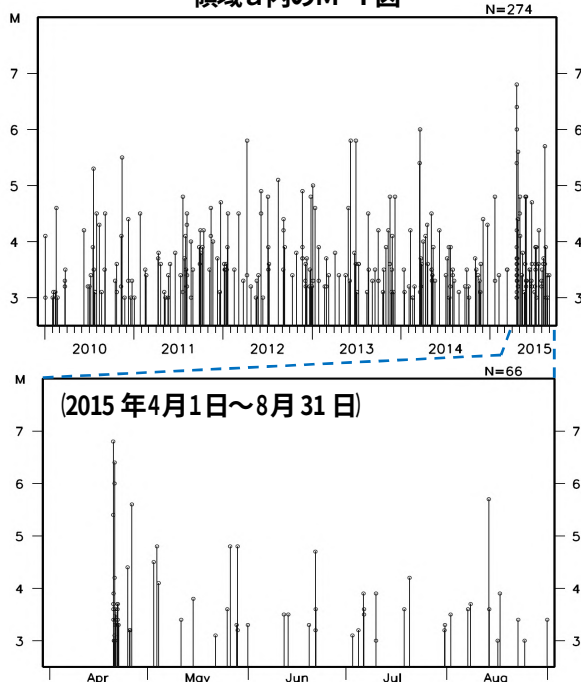
震央分布図
(2010年1月1日～2015年8月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2015年8月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



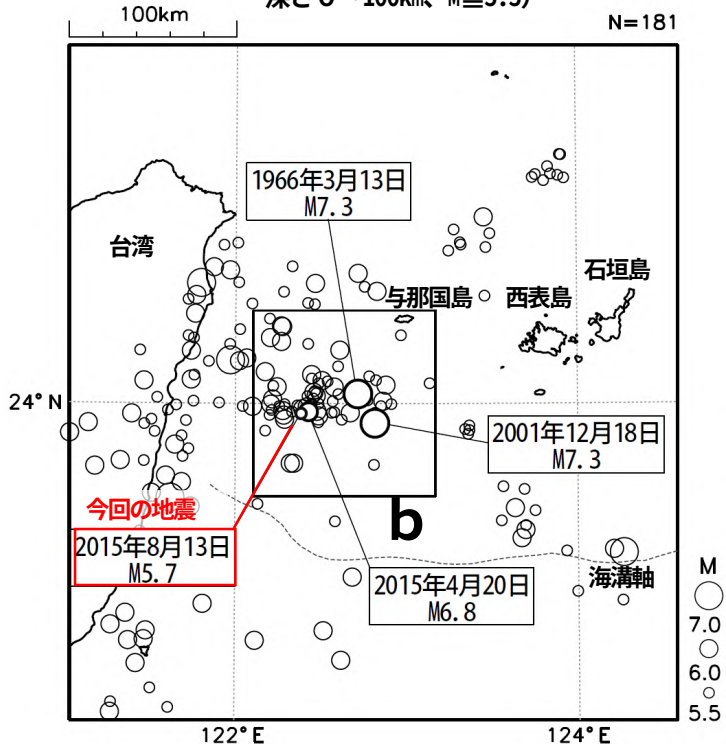
2015年8月13日23時08分に台湾付近 (与那国島の南西約90km) でM5.7の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、南北方向に圧力軸を持つ型である。

2010年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域a) では今年の4月20日10時42分にM6.8の地震 (最大震度4) が発生したほか、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図



震央分布図
(1960年1月1日～2015年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$)



1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域b) ではM6.0以上の地震が時々発生している。1966年3月13日に発生した地震 (M7.3、最大震度5) では、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟などの被害を生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。2001年12月18日に発生した地震 (M7.3、最大震度4) では、与那国島で12cmなどの津波を観測した。

領域b内のM-T図

